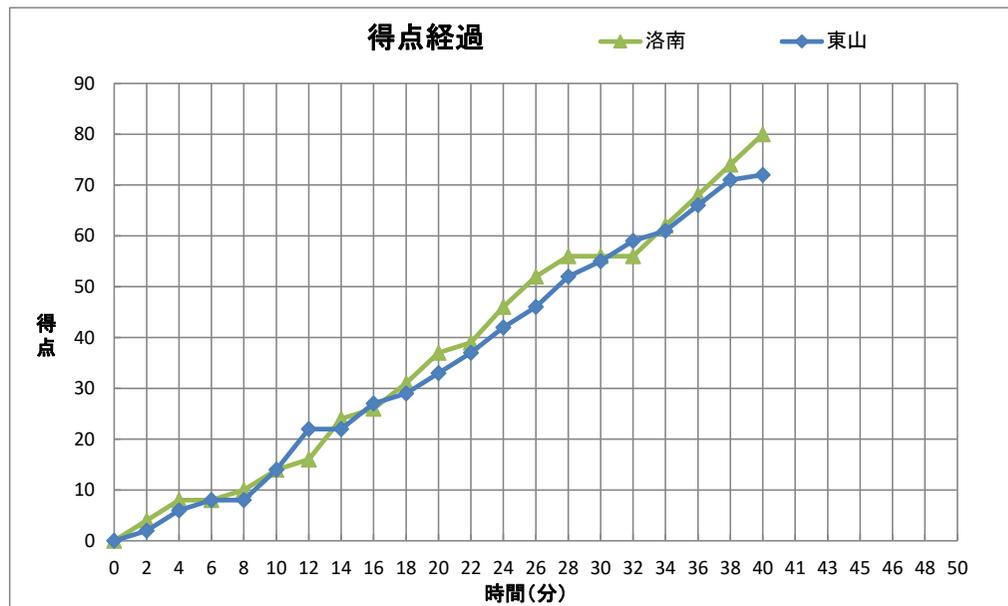




令和3年度全国高等学校総合体育大会京都府予選 兼  
第68回近畿高等学校バスケットボール大会京都府予選

個人トータル表

男子		5月30日				15:00 開始																	
決勝		山城総合運動公園体育館				A																	
◎	洛南	80	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>22</td></tr> <tr><td>24</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>				14	1st	14	23	2nd	19	19	3rd	22	24	4th	17	72	東山			
14	1st	14																					
23	2nd	19																					
19	3rd	22																					
24	4th	17																					
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則										
* 4	岩屋 頼	14	0	6	2	2	* 4	西部 秀馬	22	3	6	1	3										
* 5	大西 一輝	24	1	9	3	2	* 5	堀 陽稀	20	0	5	10	1										
* 6	山岸 優介	6	0	2	2	3	6	木下 楽雲	9	1	2	2	0										
7	杉信 イフェアニ	4	0	1	2	3	* 7	今野 凌	6	0	2	2	5										
* 8	藪田 恵大	16	0	6	4	1	* 8	堀田 尚秀	2	0	1	0	5										
9	高田 和幸	6	0	3	0	0	9	竹内 龍之介	5	1	1	0	0										
10	廣瀬 励哉	-	-	-	-	-	10	角野 寛伍	0	0	0	0	0										
11	中西 慶	-	-	-	-	-	11	伊計 叶貴	-	-	-	-	-										
12	星川 開聖	4	0	2	0	1	12	熊谷 統矢	-	-	-	-	-										
13	波多野 心優	-	-	-	-	-	* 13	清水 拳	8	2	1	0	2										
14	西村 渉	6	0	2	2	4	14	曾我部 嵐史	-	-	-	-	-										
* 15	三浦 健一	0	0	0	0	2	15	矢倉 啓輔	-	-	-	-	-										
16	辻 永遠	-	-	-	-	-	16	西山 慎	-	-	-	-	-										
17	鬼防 壬陽人	-	-	-	-	-	17	志水 将修	-	-	-	-	-										
18	廣瀬 優斗	-	-	-	-	-	18	滝本 純也	-	-	-	-	-										
コーチ	吉田 裕司					0	コーチ	大澤 徹也					0										
Aコーチ	河合 祥樹						Aコーチ	脇阪 凪人															
合計		80	1	31	15	18	合計		72	7	18	15	16										
主審: 岩木 太郎 副審: 加藤 毅 副審: 片山 雄一郎																							



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	11:00	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	13:46	:	24:17	38:51	39:42	:	:	:	:

〔戦評〕

インターハイ京都府予選決勝戦。両チームマンツーマンでスタート。洛南は、#8の3P、#6のゴール下シュートで得点する。いっぽう、東山は#13のトランジションレイアップシュートで先制し#5のペネトレイトで得点を重ね両者互角の展開を見せる。その後、両チーム得点を重ね14対14で第1Q終了。

第2Q、東山#5のバスケットカウントから洛南のミス誘い#4の3Pで8点リードの出だしを見せる。洛南は、タイムアウトで流れを切った。タイムアウト後、#9のペイントシュートで得点し落ち着きを取り戻し反撃スタート。今度は逆に東山のターンオーバーが目立ち同点に追い付かれ、洛南の速攻が決まり東山がタイムアウト。タイムアウト後のフリースローが決まり、洛南逆転に成功。洛南7点リードで前半を折り返す。

第3Q残り5分、洛南が1-2-1-1のゾーンプレスから#4・#6の連続得点で8点リードと洛南に流れが行き東山のタイムアウト。タイムアウト後、落ち着きを取り戻した東山が#4・#6の3Pと#4のバスケットカウントで流れを戻し洛南が1点リードで最終ピリオドをむかえる。

第4Q、交代した洛南#14が連続得点を挙げリードを広げるが、東山も#4・#5の得点で追いつき一進一退の攻防が続く。残り5分、インサイドでハードワークを続けていた東山#7が5ファウルで退場し洛南に流れがいく。残り1分、洛南#5のドライブインでリードを5点に広げ東山タイムアウト。東山はファウルゲームを仕掛けるも、洛南がリード守り切り80対72で洛南が7年ぶりのインターハイ出場を決めた。